

第60回 建築士会全国大会 京都大会 開催報告書

行 事 名 称	平成 29 年度 全国大会「京都大会」 青年委員会 セッション地域実践活動アワード報告	会 場	京都市勧業館 みやこめっせ 地下第一展示場 A
開 催 日 時	平成 29 年 12 月 8 日 10:00~12:00	報 告 者	日本建築士会連合会青年委員会 川嶋 和之
開 催 趣 旨	各ブロック青年・女性委員会における日頃の活動の報告発表及び情報の共有、そしてさらなる発展に資するため、その優れた実践活動等の実績を評価し、全国大会の場において表彰する。	内 容	12月8日（青年委員会担当セッション）において全国7ブロックの代表者による地域実践活動成果発表及びグループディスカッションを行い、最優秀賞（1件）、優秀賞（1件）、奨励賞（5件）を選考した。尚、表彰については、最優秀賞、優秀賞は大会式典にて行われた。 ■最優秀賞 関東甲信越ブロック（長野県） ■優秀賞 近畿ブロック（京都府）

◇ 趣旨に対する成果

前回全国大会 大分大会に引き続き行われた8回目のアワードである。

青年建築士が集まる全国大会の場でこうした地域実践活動の報告発表及びワークショップ、表彰が行われたことは今後の活動の更なる発展につながることはもとより、日々活動をする方々にとって、モチベーションをあげる要因の一つになっていると思われる。

優秀賞を受賞した京都府建築士会では共に事業推進しているメンバーは基より、地域住民との関係がより一層強固なものになり、今後の活動内容に大きな期待が持てる結果となった。

◇課題・検討事項

全国建築士フォーラム 地域実践活動発表会として各ブロック代表による地域実践活動発表を行った。

参加者による投票については今年度より新手法として携帯電話（スマートフォン）でのWEB投票を採用した。概ね好評であり、特段の不満もなかったように思うが、賞レースな感が否めず、本来の意義を見直す時期に来ていると思う。また開催場所の都合上、発表者・参加者間による質疑応答・情報共有するためのワークショップが開催できなかったことが残念である。

次年度への課題・検討として、今回の相互間情報共有を踏まえた上でのサポートや運営方法等のスキームの公開、事業開催者の仲介方法等の類似事業開催の際に有効な報告書（計画書）の作成が考えられる。また、WebSite 上での公開は基より、閲覧頻度を増やす取り組みを検討していく必要もあると思われる。

参加者数：有効投票数票 287 票

開催状況



